

鳥海山をバックにグランド・ゴルフ

して、一集落100万円を限度で予算の範囲内において交付されるものです。具体的には、高齢者が集まるために必要なテーブルや椅子、エアコン、体操用のDVD、テレビなどの整備に使われています。この制度により高齢者のふれあいサロンなどが定期的に開催されるようになり、単位クラブ数は再結成（復活）クラブを含めて19クラブ増えました。26

遊佐町は、山形県の最北端に位置し、西は庄内砂丘を隔て日本海に臨み、北は町のシンボルである秀峰鳥海山を境に秋田県に接し、東は出羽丘陵、南は酒田市に接しています。

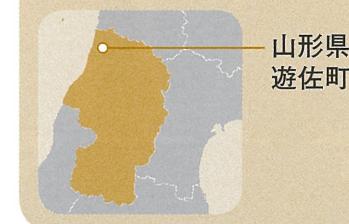
鳥海山を起源とする水資源を活かした月光川や日光川流域の肥沃な平野での稲作や、砂丘地での畑作等の農業を基幹産業として発展してきました。近年では豊かな自然や多種多様な農産物などの地域資源を活かし、観光の振興や都市との交流、人口の拡大のための取り組みを推進しています。

遊佐町老連は、昭和39年に発足、平成10年代は80クラブ、4100名を超える勢いでし

たが、リーダーの高齢化などによる後継者不足で休会・解散が相次ぎ、平成23年には58クラブまで減少していました。

集落拠点施設整備事業により クラブ活動が活性化

町老連では、単位クラブ支援を目的として平成22年度より会員加入促進活動を実施しています。単位クラブ活動を活性化させるためには、何といっても小地域で集まれる活動の拠点が必要であると考えて、活動拠点を確保するために集落公民館などの施設整備につい



山形県遊佐町

山形県遊佐町老人クラブ連合会

- クラブ数 77クラブ
- 会員数 2575名（男性1187名、女性1388名）

活動拠点となる施設整備で クラブ増へ



町老連主催 友愛の旅



大勢が参加するワナゲ大会

自治会長や婦人会長へ老人クラブの活動の現状を伝えたり、クラブ未加入集落や休会クラブのある集落の区長へはクラブ設置や復活のお願いをしたり、若手委員も交えて老人クラブ加入促進につながる後押しや助言をいただく機会が得られるなど、大きな成果が見られるようになったのです。

町老連の主な行事では、友愛の旅、グランピング・ゴルフ、ワナゲ大会、シルバー作品展があります。

また、単位クラブにおいては、それぞれ小

增强に邁進しています。

（会長 齊藤 清）